

プログラムシート：環境たんけん隊〔施設見学〕 学校名：安芸太田町立殿賀小学校

単元名：環境たんけん隊〔施設見学〕	学年：5,6年生
-------------------	----------

<p>1. 単元のねらい：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● スーパーを訪ね、大規模小売店舗におけるごみを減らす工夫や資源を大切にす工夫、地球温暖化を防止するための工夫を学ぶ</li> <li>● 廃棄物処理施設を訪ね、ごみ処理の現状を学び、自分たちが排出したごみはどうか実際に確かめる</li> <li>● 施設見学により学んだことを自分たちの日常生活に活かす</li> </ul>
--

2. 準備物・教材：見学のしおり、筆記用具
-----------------------

3. 単元の指導計画：( 授業が複数回におよぶ場合に記入)
-------------------------------

4. 学習の流れ	
学習活動	指導上の留意事項
<p>1. 事前学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境ラベルについて、どんなものがあるか各自家庭で調べておく</li> </ul> <p>2. スーパー（ジャスコ広島府中店）の見学 ごみを減らすための工夫を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エコマーク探し</li> <li>・ レジ袋削減の工夫</li> <li>・ 商品の工夫</li> </ul> <p>資源を大切にす工夫を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エコマーク探し</li> <li>・ リサイクルのための工夫</li> </ul> <p>地球温暖化防止のための工夫を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取り扱っている商品の工夫</li> <li>・ 店舗設備の工夫</li> </ul> <p>3. 廃棄物処理施設（広島市南工場）の見学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物処理について施設の人から説明を聞く</li> <li>・ 廃棄物処理施設の様々な設備を見学する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境ラベルの種類をあらかじめ提示しておく</li> <li>・ マイバック運動などに気づかせる</li> <li>・ 詰替え用製品や簡易包装、量り売りなどに気づかせる</li> <li>・ 店舗の出入口やレジ周りに注目させ、リサイクルボックスや環境配慮の呼びかけ表示などに気づかせる</li> <li>・ 家電製品に注目させ、省エネ製品や環境ラベルを探させる</li> <li>・ コージェネや中水利用など省エネ・省資源等に関する取り組みを店の人から聞く</li> <li>・ 私たちの日常生活から排出される廃棄物とその処理の現場とを結びつけて実感させる</li> </ul>
<p>5. 評価の観点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 様々な環境ラベルの存在に気づき、各環境ラベルの意味が理解できたか</li> <li>● 身近なスーパーで行われているごみを減らす工夫、資源を大切にす工夫、地球温暖化を防止するための様々な工夫に気づいたか</li> <li>● 自分たちも具体的な消費者活動を通じて環境への取り組みができることに気づいたか</li> <li>● ごみ処理の現場を実際に見てインパクト（驚きや発見）があったか</li> </ul>	

<p>6. 応用のための留意点：</p> <p>本プログラムは、施設見学を通じて社会（産業界）では環境に対する様々な取り組みが実際に行われていることを実体験するものである。本プログラムは、循環型社会に係る環境学習においては、導入部の動機づけとして位置づけられるものであり、「気づく」ことから「知る」ことへの移行部分である。従って、以降のプログラムにおいて、「知る」ことをさらに深め、「実践する」ことが重要である。具体的には、本プログラムで学んだ様々な取り組みを学校や家庭での日常生活で実践していくように展開させる。</p>
---

学習活動の実際：環境たんけん隊〔施設見学〕3コマ 学校名：安芸太田町立殿賀小学校

単元名：環境たんけん隊〔施設見学〕	学年：5,6年生
日付：2005年9月22日(木) 時間：3コマ 場所：ジャスコ広島府中店、広島市南工場	

1. プログラムの効果：

- ・ごみやむだをおさえることの大切さを具体的に説明を受けることにより、今まで、なにげなく買い物をしてきたが、スーパーでの工夫に気がついた。
- ・リデュース、リユース、リサイクルにつながる取り組みや工夫を実際にとらえることができた。
- ・エコ製品や環境ラベルに多くの種類と意味があることに気づき、もっと調べてみたいという気持ちをもつことができた。

2. 児童の感想・児童の変化：

- ・絶え間なく入ってくるトラック(ごみ収集車)に驚いた。さらに、今見ているごみの深さは15mと知り衝撃を受けた。

3. プログラムの課題と改良点：

特になし

4. その他考察等：

- ・今回の見学は今後の学習の大きな動機づけになった。(次時ふりかえり)
- ・5年国語 「ごみ問題」「ものとの付き合い方」の学習につなげる。
- ・6年国語 だれにもやさしく使いやすい施設への工夫「ユニバーサルデザイン」の学習に発展させる。

プログラムシート：環境たんけん隊〔施設見学〕 学校名：東広島市立板城小学校

単元名：環境たんけん隊〔施設見学〕	学年：4年生
-------------------	--------

1. 単元のねらい：
- スーパーを訪ね、大規模小売店舗におけるごみを減らす工夫や資源を大切にす工夫、地球温暖化を防止するための工夫を学ぶ
  - 廃棄物処理施設（リサイクルプラザ）を訪ね、リサイクルの現状を学ぶ
  - 施設見学により学んだことを自分たちの日常生活に生かす

2. 準備物・教材：見学のしおり、筆記用具

3. 単元の指導計画：（授業が複数回におよぶ場合に記入）

4. 学習の流れ	
学習活動	指導上の留意事項
<p>1. 事前学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境ラベルについて、どんなものがあるか各自家庭で調べておく</li> </ul> <p>2. スーパー（ジャスコ広島府中店）の見学 ごみを減らすための工夫を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エコマーク探し</li> <li>・ レジ袋削減の工夫</li> <li>・ 商品の工夫</li> </ul> <p>資源を大切にす工夫を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エコマーク探し</li> <li>・ リサイクルのための工夫</li> </ul> <p>地球温暖化防止のための工夫を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取り扱っている商品の工夫</li> <li>・ 店舗設備の工夫</li> </ul> <p>3. 廃棄物処理施設（広島市西部リサイクルプラザ）の見学 リサイクルの現状について施設の人から説明を聞く</p> <p>リサイクルプラザの様々な設備を見学する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不用品のリサイクル</li> <li>再生家具・自転車、衣服、本の展示提供</li> <li>・ リサイクル体験</li> <li>廃油石鹸作り、衣服リフォーム教室など</li> <li>・ リサイクル情報の提供</li> <li>譲ります・譲ってくださいコーナー</li> <li>・ 資源ごみの選別</li> </ul> <p>リサイクルのための12種類選別作業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境ラベルの種類をあらかじめ提示しておく</li> <li>・ マイバック運動などに気づかせる</li> <li>・ 詰替え用製品や簡易包装、量り売りなどに気づかせる</li> <li>・ 店舗の出入口やレジ周りに注目させ、リサイクルボックスや環境配慮の呼びかけ表示などに気づかせる</li> <li>・ 家電製品に注目させ、省エネ製品や環境ラベルを探させる</li> <li>・ コージェネや中水利用など省エネ・省資源等に関する取り組みを店の人から聞く</li> <li>・ 私たちの日常生活から排出される廃棄物とそのリサイクルの現場とを結びつけて実感させる</li> <li>・ 選別作業の見学から、ごみ分別の必要性を学ぶ</li> <li>・ 物を大切にす気持ちや「もったいない」の心を醸成させる</li> </ul>

5. 評価の観点：
- 様々な環境ラベルの存在に気づき、各環境ラベルの意味が理解できたか
  - 身近なスーパーで行われているごみを減らす工夫、資源を大切にす工夫、地球温暖化を防止するための様々な工夫に気づいたか
  - 自分たちも具体的な消費者活動を通じて環境への取り組みができることに気づいたか
  - リサイクルプラザの現場を実際に見てインパクト（驚きや発見）があったか

6. 応用のための留意点：

本プログラムは、施設見学を通じて社会（産業界）では環境に対する様々な取り組みが実際に行われていることを実体験するものである。本プログラムは、循環型社会に係る環境学習においては、導入部の動機づけとして位置づけられるものであり、「気づく」ことから「知る」ことへの移行部分である。従って、以降のプログラムにおいて、「知る」ことをさらに深め、「実践する」ことが重要である。具体的には、本プログラムで学んだ様々な取り組みを学校や家庭での日常生活で実践していくように展開させる。

学習活動の実際：環境たんけん隊〔施設見学〕6コマ 学校名：東広島市立板城小学校

単元名：環境たんけん隊〔施設見学〕	学年：4年生
日付：2005年10月21日（金） 時間：6コマ（1～6時限）	
場所：ジャスコ府中町店、広島市西部リサイクルプラザ	

1. プログラムの効果：

- ・今回の見学により、児童は今自分たちが学習している地球温暖化という問題が、決して遠い世界で起きていることではなく身近なことであり、自分たちの手でストップさせることはできる、ということを感じることができた。
- ・身近に感じることは、意識を高めることに繋がり、今回の見学は大変有意義であった。

2. 児童の感想・児童の変化：

- ・地元のスーパーでの地球温暖化防止のための取り組みに気づいたり、リサイクルに協力したり、環境ラベルを様々な場で見つけたりするようになった。

3. プログラムの課題と改良点：

特になし

4. その他考察等：

特になし

プログラムシート：環境たんけん隊〔施設見学〕 学校名：三原市立小阪小学校

単元名：環境たんけん隊〔施設見学〕	学年：3, 4年生
-------------------	-----------

<p>1. 単元のねらい：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● スーパーを訪ね、大規模小売店舗におけるごみを減らす工夫や資源を大切に作る工夫、地球温暖化を防止するための工夫を学ぶ</li> <li>● トレーの製造・リサイクルメーカーを訪ね、製造業における容器包装リサイクルの取り組みの現状を学ぶ</li> <li>● 施設見学により学んだことを自分たちの日常生活に生かす</li> </ul>
--

2. 準備物・教材見学のしおり、筆記用具
----------------------

<p>3. 単元の指導計画：( 授業が複数回におよぶ場合に記入)</p> <p>第1次 施設見学〔5コマ(2~6時限)〕</p> <p>第2次 施設見学のまとめ・・・見学の結果のとりまとめと発表会の練習〔2コマ〕</p> <p>第3次 学内発表会・・・3, 4年生が5, 6年生に発表する〔1コマ〕</p>
---

4. 学習の流れ	
学習活動	指導上の留意事項
<p>1. 事前学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境ラベルについて、どんなものがあるか各自家庭で調べておく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境ラベルの種類をあらかじめ提示しておく</li> </ul>
<p>2. スーパー（ジャスコ三原店）の見学</p> <p>ごみを減らすための工夫を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エコマーク探し</li> <li>・ レジ袋削減の工夫</li> <li>・ 商品の工夫</li> </ul> <p>資源を大切に作る工夫を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エコマーク探し</li> <li>・ リサイクルのための工夫</li> </ul> <p>地球温暖化防止のための工夫を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取り扱っている商品の工夫</li> <li>・ 店舗設備の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マイバック運動などに気づかせる</li> <li>・ 詰替え用製品や簡易包装、量り売りなどに気づかせる</li> <li>・ 店舗の出入口やレジ周りに注目させ、リサイクルボックスや環境配慮の呼びかけ表示などに気づかせる</li> <li>・ 家電製品に注目させ、省エネ製品や環境ラベルを探させる</li> <li>・ コージェネや中水利用など省エネ・省資源等に関する取り組みを店の人から聞く</li> </ul>
<p>3. メーカー（エフピコ）の見学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ トレーのリサイクルのシステムについてお店の人から説明を聞く</li> <li>・ トレーのリサイクルのラインを見学する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ トレーのリサイクルには回収が重要であることを気づかせる</li> <li>・ 日常生活からの廃棄物とそのリサイクルの現場とを結びつけて実感させる</li> <li>・ 見学したことについてどのように伝えたいか考える。</li> </ul>
<p>4. 見学のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループに別れ、見学のまとめをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年生はジャスコの見学について、4年生はエフピコの見学について、写真やメモを手がかりにして5・6年生に伝えるための壁新聞作りをする。</li> </ul>
<p>5. 学内発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見学内容とわかったことをわかりやすく発表する。</li> <li>・ 発表を聞く。</li> </ul>	

<p>5. 評価の観点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 様々な環境ラベルの存在に気づき、各環境ラベルの意味が理解できたか</li> <li>● 身近なスーパーで行われているごみを減らす工夫、資源を大切に作る工夫、地球温暖化を防止するための様々な工夫に気づいたか</li> <li>● 身近な商品がリサイクルされていることに気づいたか</li> <li>● 自分たちも具体的な消費者活動を通じて環境への取り組みができることに気づいたか</li> </ul>
---

#### 6. 応用のための留意点：

本プログラムは、施設見学を通じて社会（産業界）では環境に対する様々な取り組みが実際に行われていることを実体験するものである。本プログラムは、循環型社会に係る環境学習においては、導入部の動機づけとして位置づけられるものであり、「気づく」ことから「知る」ことへの移行部分である。従って、以降のプログラムにおいて、「知る」ことをさらに深め、「実践する」ことが重要である。具体的には、本プログラムで学んだ様々な取り組みを学校や家庭での日常生活で実践していくように展開させる。

#### 学習活動の実際：環境たんけん隊〔施設見学〕5コマ 学校名：三原市立小阪小学校

単元名：環境たんけん隊〔施設見学〕	学年：3, 4年生
日付：2005年9月8日（木） 時間：5コマ（2～6時限）	
場所：ジャスコ三原店、㈱エフピコ	

#### 1. プログラムの効果：

- ・お店で回収されたトレーが、エフピコで再生され、お店で再利用されていることが具体的にわかった。
- ・お店では環境保護のためにさまざまな工夫が取り入れられていることを知った。具体的な活動については、今後学習を進めながら子どもたちの思いを引き出していきたい。

#### 2. 児童の感想・児童の変化：

- ・障害者用のトイレや、目の見えない人のための点字ブロックがあり、障害のある人も利用しやすいように工夫されていた。
- ・食料品は必要な量だけ買えるようにばら売りしてあった。夜は省エネのために冷凍食品などにエコのカバーがしてあってすごかった。
- ・エコマークは環境にやさしい製品につけられている。文房具にエコマークがいっぱいついていて。パソコンのインクや電池はリサイクルのために回収できることがわかった。
- ・日用品の中には、リサイクルしているものがたくさんあった。でも、リサイクルにはたくさんのお金やエネルギーがかかる。
- ・エフピコでは、鉛筆立てなどのものをつくるだけでなく、トレーをつくって回収し、作り直して出荷していることがわかった。

#### 3. プログラムの課題と改良点：

- ・実際にスーパーに行き、消費者活動を行っている方から、ポイントを得た説明をしていただいでわかりやすかった。しかし、店内のため、言葉が聞き取りにくい場面があった。また、情報量が多く、理解できにくい児童もいたので、学校で再度確認した。
- ・スーパーは、売るための工夫・環境問題・地産地消・省エネ・障害者福祉などさまざまな学習教材を含んでいる。学習内容について事前に十分に連携し、見学のねらいをはっきりとさせ、職員も臨機応変に対応できるようにしておく必要がある。

#### 4. その他考察等：

- ・環境ラベルにはいろいろなものがあることに気づくことができた。環境にやさしいものであるということはある程度理解できたと思うが、一つひとつについての理解には、個人差がある。
- ・見学の後で、5・6年生にわかるように発表しようという課題を持ち、伝えようとする中で理解も深まった。5・6年生も下級生の発表をしっかりと聞くことができた。

(参考)

プログラムシート：スーパーにいったら…〔近隣調べ学習〕 学校名：府中市立国府小学校

単元名：スーパーにいったら…〔近隣調べ学習〕	学年：3年生
------------------------	--------

1. 単元のねらい： <ul style="list-style-type: none"><li>● スーパーを訪ね、大規模小売店舗におけるごみを減らす工夫や資源を大切にする工夫、地球温暖化を防止するための工夫を学ぶ</li><li>● 近隣調べ学習により学んだことを自分たちの日常生活に生かす</li></ul>
---

2. 準備物・教材：見学のしおり、筆記用具
-----------------------

3. 単元の指導計画：( 授業が複数回におよぶ場合に記入 ) 第1次 スーパーでの近隣調べ学習〔2コマ〕 第2次 スモールティーチャー…上記で学んだことを3年生が1,2年生に教える
--

4. 学習の流れ	
学習活動	指導上の留意事項
1. 事前学習 ・ 環境ラベルについて、どんなものがあるか各自家庭で調べておく	・ 環境ラベルの種類をあらかじめ提示しておく
2. スーパーの見学 ・ スーパーを見学し、気づいたことを「見学のしおり」に書き込む ごみを減らすための工夫を学ぶ ・ エコマーク探し ・ レジ袋削減の工夫 ・ 商品の工夫 資源を大切にする工夫を学ぶ ・ エコマーク探し ・ リサイクルのための工夫 地球温暖化防止のための工夫を学ぶ ・ 取り扱っている商品の工夫	・ スーパーにはあらかじめ見学する旨とその内容を伝え、了解を得ておく。あわせて写真撮影の許可も得ておく ・ 可能であれば、環境への取り組みについて当日お店の人に説明してもらう ・ マイバック運動などに気づかせる ・ 詰替え用製品や簡易包装、量り売りなどに気づかせる ・ 店舗の出入口やレジ周りに注目させ、リサイクルボックスや環境配慮の呼びかけ表示などに気づかせる ・ 省エネ製品や環境ラベルを探させる
3. 教室でのまとめ ・ 書き込んだ「見学のしおり」をふりかえりながら「ごみを減らすための工夫」「資源を大切にする工夫」「地球温暖化防止のための工夫」等をまとめる ・ スモールティーチャーに向け、発表のための準備を行う	・ リサイクルボックスや詰替え用製品等の発見、どんなエコマークがあったか等が子供にもわかりやすく、まとめやすい

5. 評価の観点： <ul style="list-style-type: none"><li>● 様々な環境ラベルの存在に気づき、各環境ラベルの意味が理解できたか</li><li>● 身近なスーパーで行われているごみを減らす工夫、資源を大切にする工夫、地球温暖化を防止するための様々な工夫に気づいたか</li><li>● 身近な商品がリサイクルされていることに気づいたか</li><li>● 自分たちも具体的な消費者活動を通じて環境への取り組みができることに気づいたか</li></ul>
---

#### 6. 応用のための留意点：

本プログラムは、施設見学を通じて社会（産業界）では環境に対する様々な取り組みが実際に行われていることを実体験するものである。本プログラムは、循環型社会に係る環境学習においては、導入部の動機づけとして位置づけられるものであり、「気づく」ことから「知る」ことへの移行部分である。従って、以降のプログラムにおいて、「知る」ことをさらに深め、「実践する」ことが重要である。具体的には、本プログラムで学んだ様々な取り組みを学校や家庭での日常生活で実践していくように展開させる。

学習活動の実際：スーパーにいったら…〔近隣調べ学習〕1コマ 学校名：府中市立国府小学校

単元名：スーパーにいったら…〔近隣調べ学習〕	学年：3年生
日付：2005年11月9日（水） 時間：1コマ（3時限）	場所：教室

#### 1. プログラムの効果：

- ・「リサイクルコーナー」について、どんな物を集めているか。何のためにあるのかなどを考えることができた。
- ・「エコマーク」探しについては、ノートやトイレットペーパーなど、身近な物なので、よく知っていた。
- ・「マイバック」については、数人の家の人が自分の袋を持っている事を知っていた。
- ・3Rについて、学習できた。

#### 2. 児童の感想・児童の変化：

- ・ゴミをへらすくふうが、あまりつまらない事やすててしまえば、それは、ゴミになるけど、リサイクルすれば、しげんを大切にすることになるんだなと思った。
- ・ぼくの家でも、牛乳パックやトレーをリサイクルコーナーへ持って行ったことがある。
- ・小さくなった服などは、すてないでフリーマーケットやバザーなどに出すといい。

#### 3. プログラムの課題と改良点：

特になし

#### 4. その他考察等：

- ・リサイクルについては耳慣れ、よく知っているが、エコマーク以外の「環境ラベル」について、もう少し調べさせていきたい。
- ・地球温暖化防止については、難しくてわかりにくい所もあったようだ。